



APPENDIX

C

Cisco Catalyst Blade Switch 3130 for Dell show platform コマンド

この付録では、スイッチ用に作成または変更された **show platform** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

show platform acl

プラットフォームに依存する Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics
asic-number | usage asic-number [summary] | vlan vlan-id} [| {begin | exclude |
include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|---|
| interface <i>interface-id</i> | 指定されたインターフェイスについてインターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスは物理インターフェイスまたは Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) になることができます。 |
| label <i>label-number</i> [detail] | ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> の範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> detail : (任意) 詳細 ACL マネージャ ラベル情報を表示します。 |
| statistics <i>asic-number</i> | ASIC (特定用途向け集積回路) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>asic-number</i> は、ポート ASIC 番号で、0 または 1 です。 |
| usage <i>asic-number</i> [summary] | ASIC 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> summary : (任意) 使用状況情報の概要を表示します。 |
| vlan <i>vlan-id</i> | VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform backup interface

Flex Link 設定で使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

| | |
|---------------------|---|
| <i>interface-id</i> | (任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。インターフェイスは、物理インターフェイスでもポート チャネルでもかまいません。 |
| dummyQ | (任意) ダミー キュー情報を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform configuration

プラットフォームに依存するコンフィギュレーション マネージャ 関連情報を表示するには、**show platform configuration** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform configuration {config-output | default | running | startup} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|----------------------|--|
| config-output | 最後の自動設定アプリケーションの出力を表示します。 |
| default | システムがデフォルト設定を実行しているかどうかを表示します。 |
| running | ローカル スイッチのバックアップ実行コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。 |
| startup | ローカル スイッチのバックアップ スタートアップ コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform dl

動的にロードされるモジュール情報を表示するには、**show platform dl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform dl [detail] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| detail | (任意) 動的にロードされるモジュール情報の詳細を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [ | {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

| | |
|--------------------|--|
| flags | EtherChannel ポート フラグを表示します。 |
| time-stamps | EtherChannel タイム スタンプを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform forward

指定されたパラメータと一致したフレームがハードウェアで転送される方法を指定するには、インターフェイスに対して **show platform forward** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [ipv6 | sap | snap] [cos cos] [ip src-ip dst-ip] [frag field] [dscp dscp] [l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|---|
| <i>interface-id</i> | パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス (タイプ、スタック メンバー、モジュール、ポート番号を含む) |
| vlan <i>vlan-id</i> | (任意) 入力 VLAN ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。このパラメータに値を指定せず、入力インターフェイスがルーテッドポートでない場合は、デフォルト値が 1 になります。 |
| <i>src-mac</i> | 48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス。 |
| <i>dst-mac</i> | 48 ビット宛先 MAC アドレス。 |
| <i>l3protocol-id</i> | (任意) パケットで使用されるレイヤ 3 プロトコル。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| ipv6 | (任意) IPv6 フレーム。このキーワードは、スイッチまたはスイッチ スタックで IP サービス フィーチャ セットが稼動している場合にだけサポートされます。 |
| sap | (任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセスポイント) カプセル化タイプ。 |
| snap | (任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワーク アクセス プロトコル) カプセル化タイプ |
| cos <i>cos</i> | (任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。 |
| ip <i>src-ip</i> <i>dst-ip</i> | (任意、ただし IP パケットには必要) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス。 |
| frag <i>field</i> | (任意) フラグメント IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| dscp <i>dscp</i> | (任意) IP ヘッダーの Differentiated Service Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。 |
| <i>l4protocol-id</i> | IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) であり、89 は OSPF (Open Shortest Path First) です。プロトコルが TCP、User Datagram Protocol (UDP)、Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージ プロトコル)、または Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) である場合、数値の代わりに適切なキーワードを使用する必要があります。 |
| icmp <i>icmp-type</i> <i>icmp-code</i> | ICMP パラメータ。指定できる <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> の範囲は 0 ~ 255 です。 |
| igmp <i>igmp-version</i> <i>igmp-type</i> | IGMP パラメータ。指定できる <i>igmp-version</i> の範囲は 1 ~ 15 であり、指定できる <i>igmp-type</i> の範囲は 0 ~ 15 です。 |

show platform forward

| | |
|---|---|
| sctp <i>src-port dst-port</i> | Stream Control Transmission Protocol (SCTP) パラメータ。SCTP 送信元および宛先ポートに指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| tcp <i>src-port dst-port flags</i> | TCP パラメータ：TCP 送信元ポート、宛先ポート、およびヘッダー内の TCP フラグ バイトの数値。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。指定できるフラグの範囲は 0 ~ 1024 です。 |
| udp <i>src-port dst-port</i> | UDP パラメータ。指定できる <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例

show platform forward コマンドの出力表示およびその意味の例については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」の章を参照してください。

show platform frontend-controller

フロントエンドコントローラ マネージャとその従属アプリケーションのカウンタおよびステータス情報、およびフロントエンドコントローラのハードウェアおよびソフトウェア情報を表示するには、**show platform frontend-controller** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform frontend-controller {buffer | generic | manager number | subordinate
number | version number} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|---------------------------|--|
| buffer | マネージャから従属アプリケーションに送信された最後の 1024 バイトを表示します。または、従属アプリケーションからマネージャに送信された最後の 1024 バイトを表示します。 |
| generic | マネージャまたは従属アプリケーションに明確に適用されない一般的なカウンタを表示します。 |
| manager number | <i>number</i> によって指定されたマネージャおよび従属アプリケーションのカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。 |
| subordinate number | <i>number</i> によって指定された従属アプリケーションの従属ステータスおよびカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。 |
| version number | <i>number</i> によって指定された従属ステータスのハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

指定できる下位番号の範囲は 0 ~ 2 です。

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型インターネットグループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group
ip-address | hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--------------------------------------|---|
| all | すべての IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。 |
| control [di] | IGMP スヌーピング コントロール エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> di : (任意) IGMP スヌーピング コントロール宛先索引エントリを表示します。 |
| counters | IGMP スヌーピング カウンタを表示します。 |
| flood [vlan vlan-id] | IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> vlan vlan-id : (任意) 指定された VLAN のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| group ip-address | IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここで、 <i>ip-address</i> はグループの IP アドレスです。 |
| hardware | ハードウェアにロードされた IGMP スヌーピング情報を表示します。 |
| retry [count local [count]] | IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count : (任意) 再試行回数だけを表示します。 local : (任意) ローカル再試行エントリを表示します。 |
| remote [count] | リモート エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count : (任意) リモート カウントだけを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| expression | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ip multicast

プラットフォームに依存する IP マルチキャスト テーブルおよび他の情報を表示するには、**show platform ip multicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip multicast {acl-full-info | counters | groups | hardware [detail] |
  interfaces | locks | mdfs-routes | mroute-retry | retry | trace} [| {begin | exclude |
  include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--------------------------|--|
| acl-full-info | IP マルチキャスト ルーティング Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) 情報、特にハードウェアで出力のルータ ACL が適用されない発信 VLAN の数を表示します。 |
| counters | IP マルチキャスト カウンタと統計を表示します。 |
| groups | グループごとの IP マルチキャスト ルータを表示します。 |
| hardware [detail] | ハードウェアにロードされた IP マルチキャスト ルートを表示します。任意の detail キーワードは、宛先インデックスおよびルート インデックスのポート メンバー を表示するために使用します。 |
| interfaces | IP マルチキャスト インターフェイスを表示します。 |
| locks | IP マルチキャスト宛先インデックス ロックを表示します。 |
| mdfs-routes | Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) IP マルチキャスト ルートを表示します。 |
| mroute-retry | IP マルチキャスト ルート リトライ キューを表示します。 |
| retry | リトライ キューの IP マルチキャスト ルートを表示します。 |
| trace | IP マルチキャスト トレース バッファを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ip unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast {adjacency | cef-idb | counts | dhcp | failed {adjacency | arp
[A.B.C.D] | route} | loadbalance | mpaths | proxy | route | rpf {A.B.C.D {A.B.C.D} |
stats interface-id} standby | statistics | table | trace} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

| | |
|---|--|
| adjacency | プラットフォーム隣接データベースを表示します。 |
| cef-idb | Cisco Express Forwarding (CEF; シスコ エクスプレス フォワーディング) インターフェイス記述子ブロックに対応するプラットフォーム情報を表示します。 |
| counts | レイヤ 3 ユニキャスト データベースの現在のカウントを表示します。 |
| dhcp | DHCP システム ダイナミック アドレスを表示します。 |
| failed {adjacency arp [A.B.C.D] route} | ハードウェア リソース障害を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • adjacency : ハードウェアでのプログラミングに失敗した隣接エントリを表示します。 • arp : 障害および再試行による Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 削除を表示します。 • A.B.C.D : (任意) 表示する ARP エントリのプレフィクス。 • route : ハードウェアでのプログラミングに失敗したルート エントリを表示します。 |
| loadbalance | プラットフォーム ロードバランス データベースを表示します。 |
| mpaths | レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接データベースを表示します。 |
| proxy | プラットフォーム プロキシ ARP データベースを表示します。 |
| route | プラットフォーム ルート データベースを表示します。 |
| rpf {A.B.C.D {A.B.C.D} stats interface-id} | ユニキャスト Reverse Path Forwarding (ユニキャスト RPF) プラットフォーム情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • A.B.C.D {A.B.C.D} : 表示する RPF エントリのプレフィクスおよびプレフィクス マスク。 stats : 指定インターフェイスのユニキャスト RPF 統計情報を表示します。 |
| standby | プラットフォーム スタンバイ情報を表示します。 |
| statistics | レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング累積統計を表示します。 |
| table | プラットフォーム IP version 4 (IPv4) 情報を表示します。 |
| trace | プラットフォーム イベント トレース ログを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| expression | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |



(注)

proxy および **table** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されますが、サポートされていません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ip unicast vrf compaction

圧縮要求キューおよび圧縮ステータスを表示するには、**show platform ip unicast vrf compaction** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast vrf compaction [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

show platform ip unicast vrf tcam-label

PBR および VRF-Lite ラベルと、PBR で使用されているラベルの数を表示するには、**show platform ip unicast vrf tcam-label** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast vrf tcam-label [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

show platform ip wccp

プラットフォームに依存する Web Cache Communication Protocol (WCCP) の情報を表示するには、**show platform ip wccp** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip wccp {detail | label} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

このコマンドがサポートされるのは、お使いのスイッチで IP サービス フィーチャ セットを実行している場合だけです。

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| detail | プラットフォーム WCCP の詳細を表示します。 |
| label | プラットフォーム WCCP のラベルを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ipc trace

プラットフォーム依存 Interprocess Communication (IPC; プロセス間通信) プロトコル追跡ログ情報を表示するには、**show platform ipc trace** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform ipc trace [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]



(注)

このコマンドは、スタック対応スイッチのみでサポートされています。

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform ipv6 unicast

プラットフォームに依存する IPv6 ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ipv6 unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ipv6 unicast {adjacency [ipv6-prefix] | backwalk {adjacency |
loadbalance} | compress ipv6-prefix/prefix length | interface | loadbalance | mpath |
retry {adjacency | route} | route [ipv6-prefix/prefix length | tcam] [detail] | statistics
| table [detail] | trace}
[| {begin | exclude | include} expression]
```

このコマンドは、スイッチまたはスイッチ スタックで IP サービス フィーチャ セットが稼動している場合にだけサポートされます。

構文の説明

| | |
|---|--|
| adjacency | スイッチまたは指定された IPv6 ネットワークの IPv6 隣接情報を表示します。 |
| <i>ipv6-prefix</i> | (任意) 表示する IPv6 ネットワーク。この引数は RFC 2373 に記載されている形式 (コロンで区切られた 16 ビット値を使用して 16 進数の形式でアドレスを指定) でなければなりません。 |
| backwalk {adjacency loadbalance} | IPv6 バックウォーク情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> adjacency : 隣接バックウォーク情報を表示します。 loadbalance : バックウォーク ロードバランス情報を表示します。 |
| compress <i>ipv6-prefix/prefix length</i> | IPv6 プレフィクス圧縮情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <i>ipv6-prefix</i> : IPv6 ネットワークです。 <i>/prefix length</i> : IPv6 ネットワーク プレフィクスの長さです。アドレスの上位何ビットがプレフィクス (アドレスのネットワーク部) であるかを示す、0 ~ 128 の 10 進値。スラッシュ記号を 10 進値の前に付ける必要があります。 |
| interface | IPv6 インターフェイス情報を表示します。 |
| loadbalance | IPv6 ロードバランス情報を表示します。 |
| mpath | IPv6 マルチパス情報を表示します。 |
| retry {adjacency route} | IPv6 リトライ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> adjacency : IPv6 隣接リトライ情報を表示します。 route : IPv6 ルートリトライ情報を表示します。 |
| route | IPv6 ルート情報を表示します。 |
| tcam | (任意) IPv6 ハードウェア ルート テーブル情報を表示します。 |
| detail | (任意) IPv6 ルート情報の詳細を表示します。 |
| statistics | IPv6 累積統計を表示します。 |
| table | IPv6 ユニキャスト テーブル情報を表示します。 |
| trace | IPv6 ユニキャスト トレースを表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

■ show platform ipv6 unicast

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform layer4op

プラットフォームに依存するレイヤ 4 演算子情報を表示するには、**show platform layer4op** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and |
vcu}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|----------------------------------|---|
| acl | アクセス コントロール リスト (ACL) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。 |
| pacl [<i>port-asic</i>] | ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <i>port-asic</i> : (任意) ポート ASIC (特定用途向け集積回路) 番号を表示します。 |
| qos [<i>port-asic</i>] | QoS (Quality of Service) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <i>port-asic</i> : (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。 |
| and-or | AND-OR レジスタ情報を表示します。 |
| map | 選択マップ情報を表示します。 |
| or-and | OR-AND レジスタ情報を表示します。 |
| vcu | Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート 担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート 担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mac-address-table

プラットフォーム依存型 MAC（メディア アクセス制御）アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address]
[vlan vlan-id]] [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--------------------------------|---|
| aging-array | (任意) MAC アドレス テーブル エージング アレイを表示します。 |
| hash-table | (任意) MAC アドレス テーブル ハッシュ テーブルを表示します。 |
| mac-address mac-address | (任意) MAC アドレス テーブル MAC アドレス情報を表示します。ここで、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。 |
| vlan vlan-id | (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform messaging

プラットフォームに依存するアプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf
[class-number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|---|
| application [incoming outgoing summary] | アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • incoming : (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。 • outgoing : (任意) 発信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。 • summary : (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。 |
| hipperf [class-number] | 発信するハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。特定のクラス番号のハイパフォーマンス メッセージについての情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform monitor

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

| | |
|---|--|
| session <i>session-number</i> | (任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mvr table

プラットフォーム依存型 Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} |
if-numbers | link-status | platform-block | port-info interface-id | stack-view | vlan
{info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|--|
| counters | モジュール カウンタ情報を表示します。 |
| group-masks | EtherChannel グループ マスク情報を表示します。 |
| idbs {active-idbs deleted-idbs} | Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> active-idbs : アクティブ IDB 情報を表示します。 deleted-idbs : 削除または漏洩された IDB 情報を表示します。 |
| if-numbers | インターフェイス番号情報を表示します。 |
| link-status | ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。 |
| platform-block | プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。 |
| port-info interface-id | 指定されたインターフェイスのポート管理および動作フィールドを表示します。 |
| stack-view | スタックのステータス情報を表示します。 このキーワードがサポートされているのは、スタック対応スイッチだけです。 |
| vlan {info line-state} | プラットフォーム VLAN 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> info : アクティブ VLAN の情報を表示します。 line-state : ラインステート情報を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| expression | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート ASIC（特定用途向け集積回路）レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic
number]] |
dest-map index number |
etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
exception [asic number | port number [asic number]] |
global-status [asic number | port number [asic number]] |
learning [asic number | port number [asic number]] |
mac-info [asic number | port number [asic number]] |
mvid [asic number] |
packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
port-info [asic number | port number [asic number]] |
prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]] |
span [vlan-id [asic number] | [asic number]
stack {control | dest-map | learning | messages | mvid | prog-parser | span | stats [asic
number | port number [asic number]]
stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic
number]] |
transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]]
vct [asic number | port number [asic number]]
version}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|---|
| cpu-queue-map-table [asic number port number [asic number]] | CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。 |
| dest-map index number | 指定された索引の宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| etherchannel-info [asic number port number [asic number]] | EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここではスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |

| | |
|---|--|
| exception [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>例外索引レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| global-status [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| learning [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>ラーニング キャッシュ内のエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| mac-info [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| mvid [<i>asic number</i>] | <p>マッピングされた VLAN ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 |
| packet-info-ram [<i>asic number</i> index number [<i>asic number</i>]] | <p>パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • index number : (任意) 指定されたパケット RAM 索引番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。 |
| port-info [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |

| | |
|---|--|
| prog-parser [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>プログラマブル パーサ テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| receive { buffer-queue port-fifo supervisor-sram } [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • buffer-queue : バッファ キュー情報を表示します。 • port-fifo : ポート First-In, First-Out (FIFO; ファーストインファーストアウト) 情報を表示します。 • supervisor-sram : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| span [<i>vlan-id</i> asic number] | <p>スイッチド ポート アナライザ (SPAN) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • vlan-id : (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 |
| stack { control dest-map learning messages mvid prog-parser span stats [<i>asic number</i> port number [<i>asic number</i>]] | <p>スタック関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • control : スタック制御ステータス レジスタ情報を表示します。 • dest-map : 宛先マップ情報を表示します。 • learning : ラーニング キャッシュ内のエントリを表示します。 • messages : スタックメッセージ レジスタ情報を表示します。 • mvid : マッピングされた VLAN ID テーブルのエントリを表示します。 • prog-parser : プログラマブル パーサ テーブルを表示します。 • span : SPAN 関連情報を表示します。 • stats : ポート ASIC の未処理の統計を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 <p>port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。</p> <p>このキーワードがサポートされているのは、スタック対応スイッチだけです。</p> |

show platform port-asic

| | |
|--|---|
| stats { drop enqueue miscellaneous supervisor } [asic number port number [asic number]] | <p>ポート ASIC の未処理の統計を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drop : ドロップ統計情報を表示します。 • enqueue : エンキュー統計情報を表示します。 • miscellaneous : 各種情報を表示します。 • supervisor : スーパーバイザ統計情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| transmit { port-fifo queue supervisor-sram } [asic number port number [asic number]] | <p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • port-fifo : ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。 • queue : キュー情報レジスタの内容を表示します。 • supervisor-sram : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。 |
| vct [asic number port number [asic number]] | <p>指定された ASIC または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number : (任意) 指定されたポート番号と ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。ここで 0 はスーパーバイザであり、1 ~ 25 はポートです。 |
| version | ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform port-security [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform qos

プラットフォーム依存型 QoS (Quality of Service) 情報を表示するには、**show platform qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|---|--|
| label asic number | 指定された ASIC (特定用途向け集積回路) の QoS ラベルマップを表示します。 (任意) asic number に指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 |
| policer {parameters asic number port alloc number asic number} | ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • parameters asic number: 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port alloc number asic number: 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。指定できるポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。指定できる ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカルサポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカルサポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform resource-manager

プラットフォームに依存するリソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
  mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] |
  mac-address mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] |
  vld [index number]} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|---|---|
| dm [index number] | 宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| erd [index number] | 指定された索引の等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| mad [index number] | 指定されたインデックスの MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| med [index number] | 指定された索引のマルチエクспанション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| mod | リソースマネージャ モジュール情報を表示します。 |
| msm {hash-table [vlan vlan-id] mac-address mac-address [vlan vlan-id]} | MAC アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> hash-table [vlan vlan-id]: すべての VLAN または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 mac-address mac-address [vlan vlan-id]: すべての VLAN または指定された VLAN に対して 48 ビットのハードウェア アドレスで表された MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| sd [index number] | 指定された索引のステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| vld [index number] | 指定されたインデックスの VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number : (任意) 指定された索引を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |

| | |
|-------------------|--|
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード 特権 EXEC

| コマンド履歴 | リリース | 変更内容 |
|--------|-------------|-----------------|
| | 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform snmp counters

プラットフォームに依存する SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform snmp counters [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform spanning-tree

プラットフォーム依存型スパンニングツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform spanning-tree synchronization [**detail** | **vlan** *vlan-id*] [| **{begin** | **exclude** | **include}**] *expression*]

構文の説明

| | |
|---|---|
| synchronization [detail vlan <i>vlan-id</i>] | スパンニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • detail : (任意) スパンニングツリー情報の詳細を表示します。 • vlan <i>vlan-id</i> : (任意) 指定された VLAN の VLAN スイッチ スパンニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform stp-instance

プラットフォーム依存型スパニングツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|-------------------|---|
| <i>vlan-id</i> | 指定された VLAN のスパニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform stack manager

プラットフォーム依存スイッチ スタック情報を表示するには、**show platform stack manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stack manager {all | counters | trace [sdp [reverse] | state [reverse]]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

このコマンドは、スタック対応スイッチのみでサポートされています。

構文の説明

| | |
|--------------------------------|--|
| all | スイッチ スタック全体の情報をすべて表示します。 |
| counters | スタック マネージャ カウンタを表示します。 |
| trace [sdp [reverse]] | 追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> sdp : (任意) Stack Discovery Protocol (SDP) 情報を表示します。 reverse : (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。 |
| trace [state [reverse]] | 追跡情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> state : (任意) スタック ステート マシン情報を表示します。 reverse : (任意) 追跡情報を逆順に (最新の情報から順にさかのぼって) 表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|---|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |
| 12.2(50)SE | このコマンドの構文が show platform stack-manager から show platform stack manager に変更されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用します。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

スイッチ スタックの要約情報に次のステータスが表示されます。

- **Waiting** : スイッチはブートアップし、スタック内にある他のスイッチからの通信を待機しています。スイッチはまだスタック マスターであるかどうかを判別していません。
スタック マスター選出に参加していないスタック メンバーは、スタック マスターが選出され準備ができるまで **Waiting** ステータスのままです。
- **Initializing** : スイッチはスタック マスター ステータスであるかどうかの判別を完了しました。スイッチがスタック マスターでない場合、このスイッチはスタック マスターからシステムレベルおよびインターフェイスレベルのコンフィギュレーションを受信してロードしています。
- **Ready** : スタック メンバーはシステムレベルおよびインターフェイスレベルのコンフィギュレーションのロードを完了し、トラフィックを転送する準備ができています。
- **Master Re-Init** : マスター再選出で、今までと異なるメンバーがマスターに選出された直後のステータス。新しいマスターがそのコンフィギュレーションを再初期化しています。このステータスは、新しいマスターにだけ適用されます。
- **Ver Mismatch** : バージョン ミスマッチ モードのスイッチ。バージョンミスマッチ モードは、スタックに加入しているスイッチに、マスターとは異なったスタック プロトコル マイナー バージョン番号がある場合です。

スタック メンバー (スタック マスターを含む) の代表的なステータス遷移は、**Waiting -> Initializing -> Ready** です。

マスター選出後のスタック マスターになるスタック メンバーの代表的なステータス遷移は、**Ready -> Master Re-Init -> Ready** です。

Version Mismatch (VM; バージョン ミスマッチ) モードのスタック メンバーの代表的なステータス遷移は、**Waiting -> Ver Mismatch** です。

show platform stack ports

プラットフォーム依存スイッチ スタック情報を表示するには、**show platform stack ports** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform stack ports {buffer | history}[| {begin | exclude | include} expression]



(注)

このコマンドは、スタック対応スイッチのみでサポートされています。

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| buffer | スタック ポート リンク イベントと同期ステート イベントを表示します。 |
| history | スタック ポート履歴を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|------------|-----------------|
| 12.2(50)SE | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用します。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例

次の例では、**show platform stack port buffer** コマンドの出力を示します。

```
Switch# show platform stack ports buffer
          Stack Debug Event Data Trace
=====
Event type LINK: Link status change
Event type RAC: RAC changes to Not OK
Event type SYNC: Sync changes to Not OK
=====

  Event      Stack      Stack PCS Info          Ctrl-Status  Loopback  Cable
  Count      Port
  =====
Event type: LINK OK Stack Port 1
0000000011  1  FF08FF00 860302A5 AA55FFFF FFFFFFFF  1CE61CE6  Yes/Yes  No cable
0000000011  2  FF08FF00 86031805 55AAFFFF FFFFFFFF  1CE61CE6  Yes/Yes  No cable
Event type: LINK OK Stack Port 2
0000000012  1  FF08FF00 860302A5 AA55FFFF FFFFFFFF  1CE61CE6  Yes/Yes  No cable
```

■ show platform stack ports

```

0000000012 2 FF08FF00 86031805 55AAFFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
Event type: RAC
0000000013 1 FF08FF00 860302A5 AA55FFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable
0000000013 2 FF08FF00 86031805 55AAFFFF FFFFFFFF 1CE61CE6 Yes/Yes No cable

```

次に、**show platform stack ports history** コマンドの出力例を示します。

```

Switch# show platform stack ports history
Switch#/  Lost Sync  # times Link  # Changes
Port#     Events    Not OK      To LinkOK
-----
1/1       0         0           0
1/2       3         4           3
2/1       3         4           3
2/2       0         0           0
3/1       0         0           0
3/2       0         0           0

```

show platform tb

スタック マスターを新しいスタック マスターに変更している間に、プラットフォーム依存の信頼性のある境界情報を表示するには、**show platform tb** 特権 EXEC コマンドを使用します。

show platform tb [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]



(注)

このコマンドは、スタック対応スイッチのみでサポートされています。

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例

次に **show platform tb** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform tb
Print TB sub-block information
(Fal/0/2) device: (Cisco phone)
/* current interfaces with TB enabled, and the trust device type */

Current master switch: (Yes)
/* Is this switch the current master switch? */

New elected master      : (No)
/* Is the master switch-over occurred and this is the new master switch? */

Master ready          : (No)
/* Is the Master switch in ready state? */

HULC TB process on    : (No)
/* Is the TB platform process currently running? */

CDP stable timer ON   : (No) (360 secs)
```

■ show platform tb

```
/* Is the CDP stable timer running? After the CDP stable timer expired, CDP neighbors of  
all the TB enabled interfaces will be verified to make sure the replacement of IP phone  
and PC did not happen during the master switch-over. */
```

```
Print TB residue trust ports information  
/* The interfaces with TB enabled right before master switch-over. */
```

```
Print port CDP neighbor information  
/* Is the CDP message still received after switch-over? */
```

```
HULC TB is not detecting CDP events  
/* Currently, this switch is not detecting any CDP event. */
```

show platform tcam

プラットフォーム依存型ハードウェア メモリ ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | equal-cost-route | ipv6
  {acl | qos | secondary} local | mac-address | multicast-expansion | qos | secondary |
  station | vlan-list} | usage} [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table equal-cost-route [asic number [detail [invalid]]] | [index
  number [detail [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid]
  | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table ipv6 {acl | qos | secondary} [asic number [detail [invalid]]] |
  [index number [detail [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] |
  [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include}
  expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]]] | [index number
  [detail [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num
  number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table multicast-expansion [asic number [detail [invalid]]] | [index
  number [detail [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid]
  | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table secondary [asic number [detail [invalid]]] | [index number
  [detail [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num
  number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]]] | [index number [detail
  [invalid]]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
  [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [[asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|--|--|
| handle number | ハードウェア メモリ処理を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。 |
| log-results | ハードウェア メモリ ログ結果を表示します。 |
| table {acl all equal-cost-route ipv6 {acl qos secondary} local mac-address multicast-expansion qos secondary station vlan-list} | <p>ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • acl : アクセス コントロール リスト (ACL) テーブルを表示します。 • all : すべてのハードウェア メモリ テーブルを表示します。 • equal-cost-route : 等価コスト ルート テーブルを表示します。 • ipv6 : IPv6 情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> – acl : IPv6 ACL テーブル情報を表示します。 – qos : IPv6 QoS テーブル情報を表示します。 – secondary : IPv6 セカンダリ テーブル情報を表示します。 • local : ローカル テーブルを表示します。 • mac-address : MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。 • multicast-expansion : IPv6 マルチキャスト拡張テーブルを表示します。 • qos : QoS テーブルを表示します。 • secondary : セカンダリ テーブルを表示します。 • station : ステーション テーブルを表示します。 • vlan-list : VLAN リスト テーブルを表示します。 |
| usage | CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用状況を表示します。 |
| [[asic number [detail [invalid]] [index number [detail [invalid]] invalid num number [detail [invalid]] invalid] [invalid] [num number [detail [invalid]] invalid]] | <p>情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number : 指定された ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 15 です。 • detail [invalid] : (任意) 有効または無効詳細を表示します。 • index number : (任意) 指定されたハードウェア メモリ テーブル索引の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。 • num number : (任意) 指定されたハードウェア メモリ テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| expression | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |



(注)

usage キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者 と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform vlan

プラットフォームに依存する VLAN 情報を表示するには、**show platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin
| exclude | include} expression]
```

構文の説明

| | |
|---------------------------------|--|
| misc | 各種 VLAN モジュール情報を表示します。 |
| mvid | Mapped VLAN ID (MVID) 割り当て情報を表示します。 |
| prune | スタック対応スイッチのスタック プルーニング データベースを表示します。スタック非対応スイッチのプラットフォームで維持されるプルーニング データベースを表示します。 |
| refcount | VLAN ロック モジュールについてのリファレンス カウントを表示します。 |
| rpc {receive transmit} | Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • receive : 受信した情報を表示します。 • transmit : 送信した情報を表示します。 |
| begin | (任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。 |
| exclude | (任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。 |
| include | (任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。 |
| <i>expression</i> | 参照ポイントとして使用する出力内の式です。 |

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 12.2(40)EX1 | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドは、問題解決のためにテクニカル サポート担当者と直接作業している場合にだけ使用してください。このコマンドは、テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。